

発表番号	チーム名	こならちゃん's
	担当者 【所属名】	安田肇、秋田伸治、石橋利宏、大下倉次夫、森本英夫、大杉和士、 藤原公太、今井正憲（指導：農林商工部森づくり推進室） 【丹後広域振興局 道路公社建設事務所】
II-6	タイトル	ポット苗育成プロジェクト ～みんな一緒に！自然にやさしい道づくり～
アピール ポイント		・公共事業におけるミティゲーションの取組を地域住民とともに！
背景		<ul style="list-style-type: none"> ・『公共事業＝自然破壊』は世間の間違ったイメージか？ ・府民へのピーアールが不足しているのでは？ ・自然にやさしい道づくりについてもっとピーアールが必要！ ・事業に対する府民の理解を得るためのピーアール手法を考えよう
改善 内容		<ul style="list-style-type: none"> ・単純に緑化するだけでは自然にやさしいとは言えない ・大規模な事業にはミティゲーションの発想が重要 →地域在来の樹種による再緑化（修復） ・ピーアール手法の検討（ホームページ、現場見学会プラスアルファ） →地域住民との協働によるコナラの植樹 ・プロジェクトの流れ 現地調査→目標設定→事業地周辺のドングリ採取→ポット苗作成 →各自でポット苗育成→事業地に植樹→（30年後）コナラ林復元 ・参加団体：地元自治会、地元小学校、工事受注業者
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を開催し専門以外の知識の習得を図った結果、ミティゲーションの重要性を再認識 ・地域住民との交流促進（特に子供たちと）の結果、工事進捗がよりスムーズに ・ドングリ採取に必要なのはマンパワーのみ！ ・必要な資材はポット、種苗トレイ、バケツ、ザル、移植ごて、土、肥料だけ（お金もあまりかからない） ・わからないからやらないじゃなく、とりあえずやってみることが重要（わからないことは専門家に聞けば大丈夫）
今後の 展開		<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度の取組は土づくり ・心配なことは夏場のポットへの水やりを忘れないこと ・植樹後の維持管理を地域のみなさんにお問い合わせ出来ないかが今後の課題

ポット苗育成プロジェクト ～みんな一緒に！自然にやさしい道づくり～

地域のみなさん
と一緒にやってみよう

道路のまわりの
自然を早く回復
すればいいかも

自然にやさしい道づくり

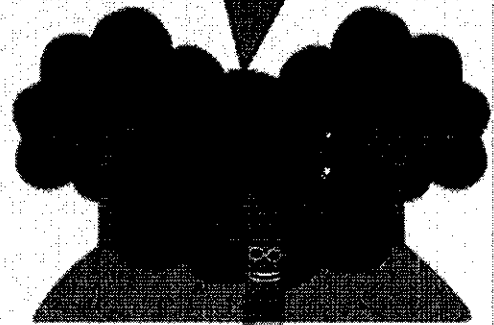
・・・で
こうなりました
(どんぐり拾っています)

究極の目標は山陰
近畿自動車道を自然
豊かな道路にする
ことです！



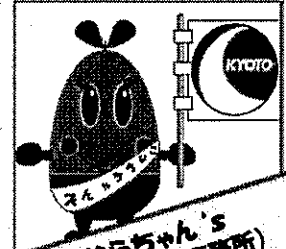
プロジェクトの

やがてこんな
風景になる



今は小さな
ドングリだ
けど

自然にやさしい
道を育てて



こならちゃん's
(道路公社建設事務所)